No.56
令和元年11月1日

えんがる議会だより

いつまでも笑顔で長生きを

緑の園・グリーンプラザ
敬老会

P22に続く

遠軽町議会 LINE
はじめました！

QR コードを読み込んで

LINE 友だち追加

遠軽道の駅完成へ　関連工事が進む！

平成３０年度決算審査特別委員会
質疑白熱！！（決算審査質疑）

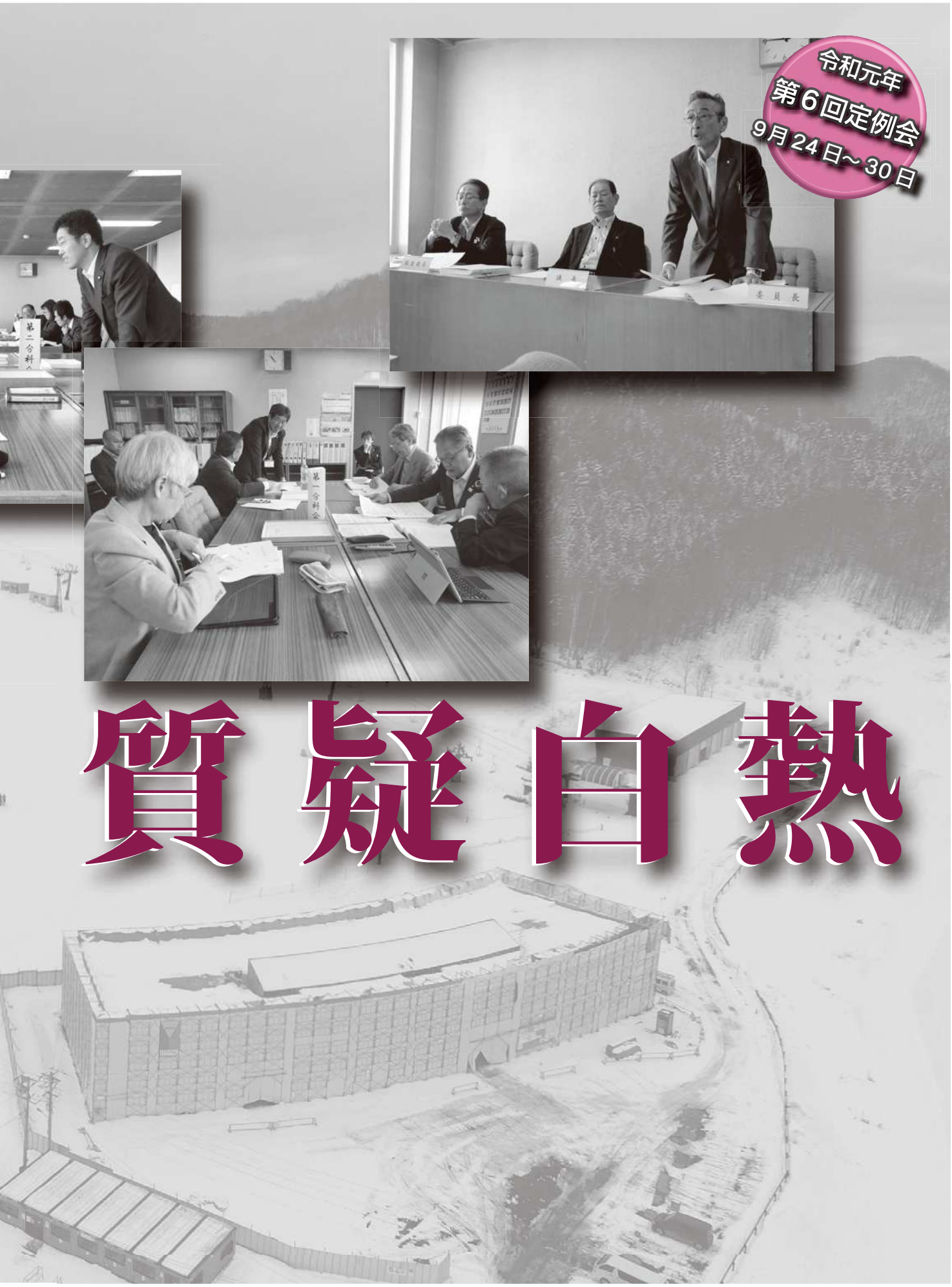
令和元年第６回町議会（定例会）

令和元年第５回町議会（臨時会）

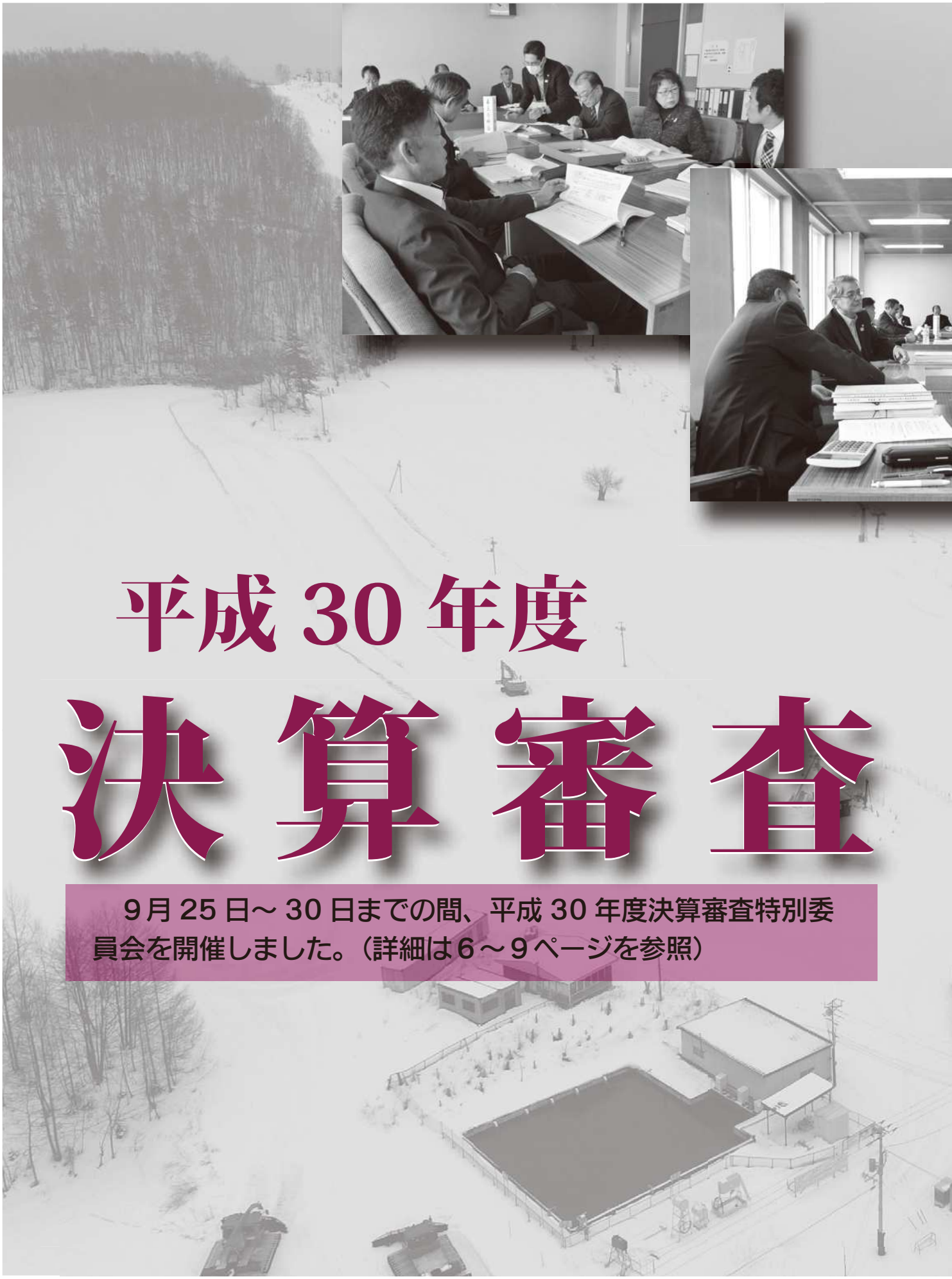
一般質問

えんがある話

◆発行／北海道遠軽町議会　◆編集／広報特別委員会



質疑白熱



平成 30 年度
決算審査

9月 25 日～ 30 日までの間、平成 30 年度決算審査特別委員会を開催しました。（詳細は６～９ページを参照）

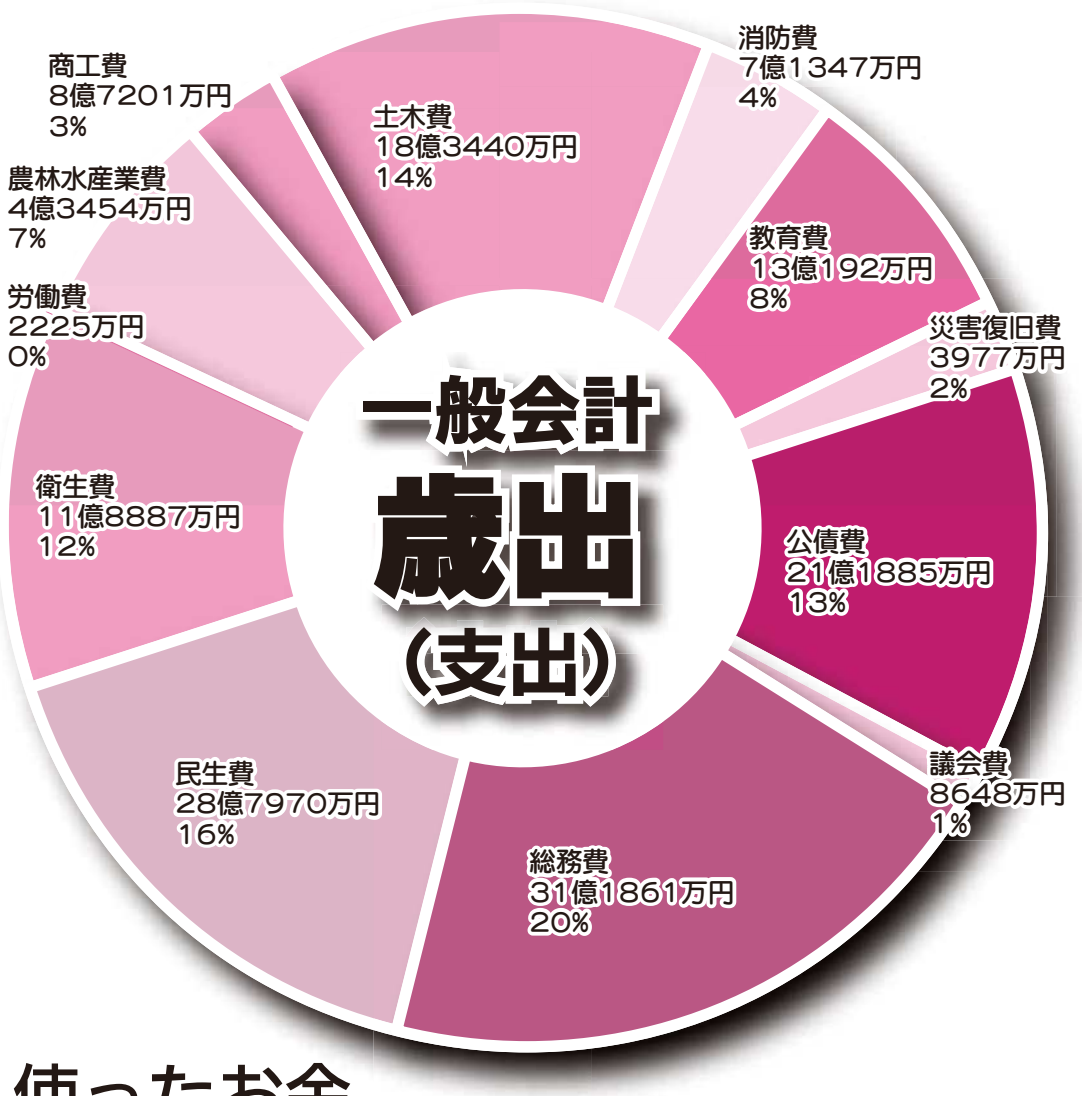
関連工事が進む！

第6回定例会は、9月24日から30日まで開催し、会期中に平成30年度の決算について、決算審査特別委員会を設置して審査しました。

平成30年度の建設事業で大きなものは、遠軽道の駅関連工事で、合わせて約4億2千万円を投じました。

工事は、道の駅本体建設工事のほか、外構整備工事、ロックバレースキー場ロッジ解体工事を実施し、令和元年度中のオープンを目指しました。

そのほかに、JR問題の主な動きなどの行政報告、人事案件、表彰、条例制定、補正予算等を審議しました（関連記事10～11ページ）。



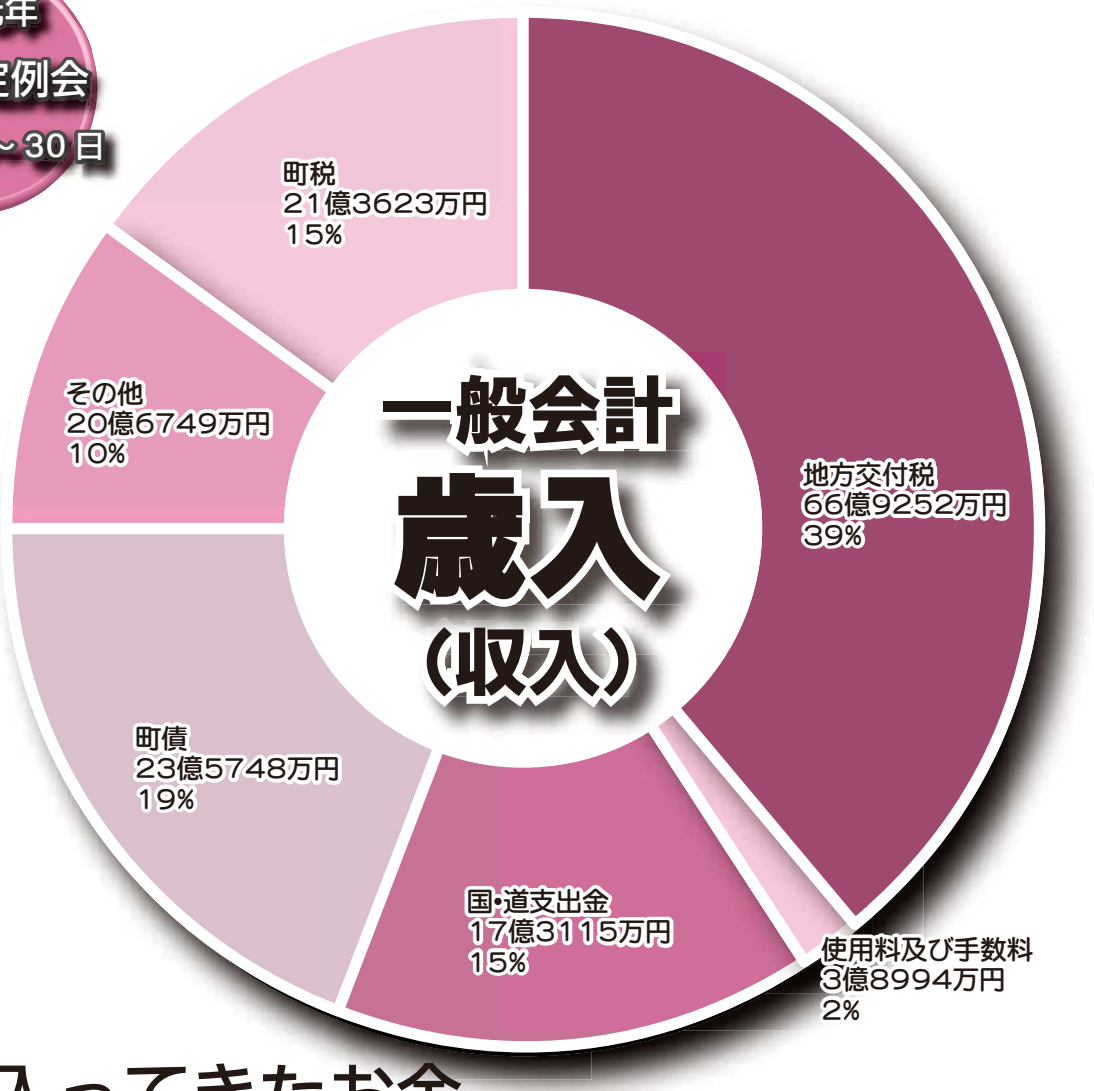
使ったお金
146億1087万円

平成３０年度各会計収支（歳入・歳出）一覧　※カッコ内は前年度比

会計名		入ってきたお金（歳入）	使ったお金（歳出）	差引
一般会計		153億7481万円【10.9%減】	146億1087万円【11.9%減】	7億6394万円
特別会計	国民健康保険事業	21億7000万円【15.4%減】	21億6845万円【15.0%減】	155万円
	後期高齢医療	3億2376万円【 4.3%増】	3億2193万円【 3.7%増】	183万円
	介護保険事業	18億9299万円【 3.3%増】	17億9745万円【 2.3%増】	9554万円
	個別排水処理事業	4769万円【29.7%増】	4627万円【26.3%増】	142万円

遠軽道の駅完成へ

令和元年
第6回定例会
9月24日～30日



入ってきたお金
153億7481万円

歳出

「一般会計」は、町の基本的な仕事をするための予算です。歳出について平成30年度は前年度と比較して約19億7千万円減少しており、衛生費と農林水産業費を合わせて約16億円減少しています。

増加した経費もありますが、特徴的な減少要因を示せば、農林水産業費のうち、施設の完成に伴う麦乾燥調製貯蔵施設整備事業補助金の減少が主な要因です。

歳入

歳入とは皆さんから納めていただいた町税や国や道から入ってくるお金のことで、町の事業を実施するのになくてはならない「財源」と呼ばれるものです。

平成30年度は前年度と比較して約18億7千万円減少していますが、これは歳出で説明した補助金の減少に伴い、その財源である国・道補助金と町債が約7億6千万円減額したことが主な要因です。

平成３０年度 決算審査 質疑白熱

決算審査は、前田篤秀議長及び議会選出監査委員黒坂貴行議員を除く全委員で構成された決算審査特別委員会（佐藤　昇委員長）を設置して審議しました。

総務費 行政改革事業 事業内容の見直しを

稲場仁子

ここ数年不用額の割合が高く、事業効果が見えてこない。

事業内容を抜本的に見直すべきではないか。

企画課長

行政改革推進委員会議の充実を図りながら、事業内容を検討してまいります。

総務費 地域おこし協力隊事業 定住してもらえる支援を

岩澤武征

３年間の予定で来遠した人が途中で退職している。

隊員の意思を尊重し、定住してもらえるような支援体制をつくるべき。

企画課長

関係各課と連携を図りながら、任期満了後の起業支援など定住できる環境づくりに努めます。

総務費 町営バス運行事業 町営バスの見直しを

佐藤　登

「遠軽丸瀬布線」、「瀬戸瀬温泉線」、「社名淵線」、「丸瀬布上武利線」の４路線について、自主運行を行っているが、年々輸送人員が減少している現在、今後多種多様な公共交通のあり方を検討すべき時期ではないか。

企画課長

地域の実情に応じた適切な公共交通のあり方について、今後調査・研究してまいります。

教育費 奨学資金貸付事業 運用方法の見直しを

髙橋義詔

奨学資金の返済方法について、町内企業に就職した場合に減免等は考えられないか。

また、利用者の負担軽減策として、据え置き期間、返済期間の見直しは考えられないか。

教育部総務課長

奨学資金貸付基金の運用を見極めながら軽減策や見直しを検討します。

教育費 成人式事業 記念品の見直しを

髙橋義詔

現在、成人式の記念品は、集合写真を渡しているが、当日出席者のみしか受け取れず、都合により出席できない成人へも配慮が必要と思うが、本年度より実施できるか。

社会教育課長

記念品の内容及び欠席者への対応について検討していきます。

教育費

球技場管理運営事業
施設整備計画の推進は？

今村則康

計画的な整備を

老朽化を含め活動頻度の高い体育施設の整備計画が不十分、施設の整備を計画的に進めるべきではないか。

社会教育課長
本年度長寿命化計画策定のため、施設の調査等を実施しておりますので、今後計画の中で整備方針等を検討していきます。

教育費

パークゴルフ管理運営事業
来春のオープンは

竹中裕志

予定どおりの利用を

今春オープン予定の瀬戸瀬パークゴルフ場はなぜ利用できなかったのか。

来春は間違いなくオープンを期待して大丈夫か。

社会教育課長
天候不順等により植生が悪かったため、再度整備を行い、来春オープンに向け準備をしています。

教育費

パークゴルフ管理運営事業
遠軽河川敷パークゴルフ場の今後について

前島英樹

他のパークゴルフ場への影響は

瀬戸瀬パークゴルフ場オープン後の遠軽河川敷パークゴルフ場の取扱いについて、今後の方針は？

社会教育課長
えんがるパークゴルフ場については、災害等で大きな被害を受けた場合以外は、これまでどおり利用いただけます。

ただし、災害等で大きく被害を受けた場合は、復旧を行わない考えであります。

土木費

公園緑地管理事業
早く遊具を使えるように

秋元直樹

子ども達のために対策を

平成30年度にDランク判定を受けた遊具について、本年6月に北海道が出した指針により、使用制限がかけられ、現在使えなくなっている。

子どもたちのために、入れ替えるか、直すか早めの対策を！

商工観光課長
公園遊具については、点検結果を踏まえ、地域のニーズを聞いた中で計画的な対策に努めます。

農林水産業費

鳥獣被害防止対策事業
囲いわなのさらなる有効性について

前島英樹

農作物への被害防止のために

従来の捕獲に加え、囲いわなの捕獲も引き続き行い、捕獲数の向上を目指し、被害防止に努めていただきたい！

囲いわなの設置期間、場所、方法を見直す考えはあるか？

農政林務課長
鹿の出没の移り変わりやわなの効果等について、引き続き研究してまいります。

土木費

道路新設改良事業
悪路面の改良計画について

山本　悟

安全に運転するために

町内の路線でデコボコ面が多く、安全走行に支障のある区間がある。今後、改良の計画はどのように考えているか。

建設課長
路面補修等の維持管理に努めながら、交通量や緊急度等を勘案して計画的に整備を進めてまいります。

平成３０年度 決算審査 質疑白熱

決算審査特別委員会審議 質疑　つづき

企業会計 水道管布設等工事 老朽化水道管の取替

山本　悟

ライフラインの更新は
老朽化した水道管被害の例

平成31年度現在、水道管本管の老朽化が進んでいると聞いている。

老朽化水道管は破損の恐れもあるので、その対策はどのように考えているか。

水道課長　老朽度を調査した内容に基づく更新計画をたて、工事を実施する考えです。

民生費 子ども・子育て支援事業 養育支援について

山谷敬二

子育てしやすい環境へ

多児世帯の育児の大変さが報道されている。遠軽町の支援のあり方は？

子育て支援課長　申請により、1回2時間以内の家事・育児の援助を無料で30回まで利用することができます。

民生費 高齢者等住宅改造助成事業 更なる周知を

渡部正騎

高齢者の自立した生活のために

平成30年度の実績は5件で少なく感じた。手すりをつけるなど在宅環境を整備することで自立した生活を維持できる高齢者のためにも、更なる周知をすべき。

保健福祉課長　在宅生活を営むうえで、住宅改造が必要な方に引き続き周知を図ります。

民生費 高齢者在宅福祉サービス事業 事業の充実を

稲場仁子

より使いやすいサービスへ

平成29年度と同様45％に近い不用額が発生している。

今後も継続すべき事業と考えるが、事業内容も含め対象範囲や周知の方法等検討すべきではないか。

保健福祉課長　介護事業所等にも協力いただき、相談対応するなかで、支援が必要な方にさらに周知を図ります。

民生費 緊急通報システム事業 通話料を無料にして利用拡大を

岩澤武征

利用拡大への施策は

緊急通報用電話機の利用は、全町で49台と非常に少ない。利用拡大を。通話料も補助して高齢者の不安解消と安全確保を！

保健福祉課長　通話料の補助は考えていませんが、今後も利用者拡大に向けて、広報、ホームページ等で周知を図ります。

民生費

介護人材育成事業
助成対象を広げる考えは

渡部正騎

担い手不足の解消を

年々助成者が減っており、平成30年度は1件のみだった。助成対象を広げ、より利用される仕組みを検討しては。

保健福祉課長
初任者研修だけでなく、実務者研修も受講できるよう助成対象の拡充について検討しています。

衛生費

地域医療対策事業
公立病院等の再編について

今村則康

地域医療の今後は

厚生労働省が令和元年9月26日に公表した、公立病院等の再編統合により、今後地域医療にどのような影響があるのか。

保健福祉課長
公立病院等は地域医療の最後の砦であり、住民に不安を与えることのないよう対応していきます。

衛生費

墓地管理事業
町営墓地の維持管理について

山谷敬二

利用しやすい環境へ

墓じまいする方が増えていることから、合葬墓の設置に合わせて、墓地内の道路、通路等を含め、環境整備の考えは。

住民生活課長
支障木の伐採等を行っていますが、今後も必要に応じて環境整備を行います。

衛生費

ごみ処理場管理事業
不法投棄の防止に向けて

阿部君枝

防止の対策を!

平成30年度において、町内一円で昨年から5倍近い9.5トンの不法投棄を町で処理している。

美しい町並みを守るために、町として注意喚起等の対策を講じるべきでは!

住民生活課長
看板の設置、広報等で注意喚起を図るなど取り組みを強化します。

総務費

生活安全灯管理事業
PCBを含む街路灯は

竹中裕志

正しい理解と正しい処理を

産廃物処理期限が令和5年と迫っている高濃度PCBを含む街路灯が残っていないか心配だが、住民への周知の予定はあるのか。

住民生活課長
防犯灯等を所有する自治会等に対して今後、広報等で周知を図ります。

総務費

交通安全施設管理事業
南小通りに通行禁止の補助看板設置を

佐藤　登

子ども達が交通事故に
合わないように

交通事故防止のためのカーブミラー、安全灯、赤色回転灯を管理しているが、南小学校の通学路に車両等の誤進入を防ぎ、子どもたちの安全のために、通行止めの補助看板を設置すべきではないか。

住民生活課長
道路幅が狭いため補助看板の設置は出来ませんが、通学時に指導員を配置する等の安全策を検討します。

令和元年 第６回定例会 9月24日～30日

主な内容

補正予算

◆令和元年度遠軽町一般会計補正予算（第５号）

歳入歳出予算の総額に６３１３万円を追加し、総額を１７１億７４０６万円としました。

（主な歳出内訳）

○企画一般経費　２８４万円

・旭川・紋別自動車道遠軽瀬戸瀬遠軽間開通記念事業負担金

・石北本線市町村支援金

旭川・紋別自動車道の開通記念に係る負担金及びＪＲ北海道への地元負担のあり方に伴う財政支援に係る経費です。

○地域おこし協力隊事業　２３５万円

新規隊員に係る経費です。

○基金運営事業　４８１万円

・まちづくり振興基金積立金

指定寄附金５件、ふるさと納税寄附金４１７件です。

○子ども・子育て支援事業　３０６９万円

幼児教育・保育無償化の実施に係る経費です。

○森林経営管理事業　１０５万円

・森林経営管理意向調査業務委託料

森林環境譲与税を活用した森林整備及び促進に係る経費です。

○道の駅遠軽森のオホーツク整備事業　２６６３万円

・ロックバレースキー場環境整備業務委託料

・ロックバレースキー場ゲレンデ拡幅整備工事

・電気自動車用充電器整備負担金

ロックバレースキー場園路整備等、ゲレンデ拡幅のため岩盤除去に係る経費及び道の駅内に設置する電気自動車用充電器整備に係る経費です。

（全会一致可決）

子育て世帯の負担軽減のために

準備着々と！

遠軽町芸術文化交流プラザ条例制定を提案！

条例の制定

◆遠軽町森林環境譲与税基金条例の制定

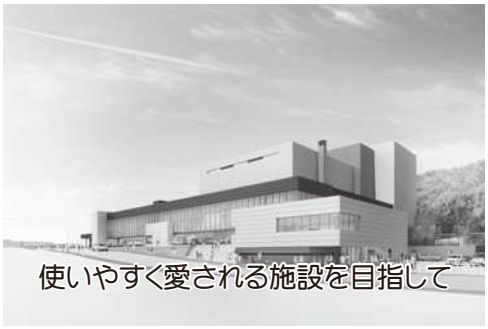
遠軽町森林環境譲与税基金を設置するための条例です。

経済常任委員会に付託し閉会中の審議としました。

◆遠軽町芸術文化交流プラザ条例の制定

建設中の遠軽町芸術文化交流プラザに関する条例です。

総務・文教常任委員会に付託し閉会中の審議としました。


使いやすく愛される施設を目指して

◆使用料等の見直しに伴う関係条例の整備

使用料等の見直しに伴い、関係条例の規定を整備するための条例です。

総務・文教常任委員会に付託し閉会中の審議としました。

主な条例改正

◆遠軽町保育所条例及び遠軽町へき地保育所条例の一部改正

令和元年10月からの幼児教育・保育の無償化による子ども・子育て支援法等の一部改正に伴い、本町の幼児教育・保育施策の一体的な見直しを行うために町条例の一部を改正するものです。

◆遠軽町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

令和元年10月からの幼児教育・保育の無償化による特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業

遠軽町から表彰される方

遠軽町表彰条例に基づき、次の方々を表彰することについて原案のとおり可決しました。

【自治功労】

住　所	氏　名	公職名	要　件
白滝975番地	横田昌弘氏	遠軽町教育委員会委員	・12年以上町教委委員の職にある方又はあった方
生田原584番地	亀田光次氏	遠軽町交通安全指導員	・20年以上町の条例等の規定に基づく審議会等の委員の職にある方又はあった方
生田原250番地	中村　明氏	遠軽町交通安全指導員	・20年以上町の条例等の規定に基づく審議会等の委員の職にある方又はあった方
学田2丁目	吉田　誠氏	遠軽町交通安全指導員	・20年以上町の条例等の規定に基づく審議会等の委員の職にある方又はあった方
西町2丁目	川口嘉一郎氏	遠軽町文化財保護審議会委員	・20年以上町の条例等の規定に基づく審議会等の委員の職にある方又はあった方

【消防功労】

住　所	氏　名	公職名	要　件
瀬戸瀬東町	深澤浩規氏	遠軽町消防団員	・消防団員として20年以上勤続した方（在職中）
南町4丁目	鈴木広志氏	遠軽町消防団員	
丸瀬布新町	加藤雅之氏	遠軽町消防団員	
生田原450番地	平向　守氏	遠軽町消防団員	
生田原347番地	由利敏之氏	遠軽町消防団員	

の運営に関する基準の一部改正に伴い、所要の規定を整理するために町条例の一部を改正するものです。

人事

◆人権擁護委員の推薦

令和元年12月31日をもって任期満了となる委員として

青野賢二氏（生田原）

の推薦に同意しました。

◆教育委員会委員の任命

令和元年11月8日をもって任期満了となる委員として

大西憲治氏（生田原）

の任命に同意しました。

◆公平委員会委員の選任

令和元年11月8日をもって任期満了となる委員として

菊地健文氏（遠軽）

の推薦に同意しました。

地域の林業・木材産業の振興に向けて

―国などへ意見書を2件提出―

議員提案により意見書が提出され、可決し関係省庁等に送付しました。

林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

（提出者等　佐藤登議員ほか4人）

全国の森林面積の約4分の1を占める本道の森林の整備を進め、木材を積極的に利用していくことは、山村地域を中心とする雇用・所得の拡大による地方創生にも大きく貢献するものである。

今後、人工林資源が本格的な利用期を迎える中、既存の制度や森林環境譲与税を活用した地域の特性に応じた森林整備の着実な推進や、森林資源の循環利用による林業・木材産業の成長産業化の実現に向けて施策の充実・強化を図ることが必要である。

1　森林の多面的機能を持続的に発揮し、林業・木材産業の振興と山村における雇用の安定化を図るため、森林整備事業及び治山事業の財源を十分かつ安定的に確保すること。

2　森林整備事業の都道府県・市町村負担分の起債を可能とする地方債の特例措置を継続すること。

3　森林資源の循環利用を通じて林業・木材産業の成長産業化を実現するため、地域の実情を十分に踏まえ、森林整備から木材の加工・流通、利用までの一体的な取り組みや森林づくりを担う林業事業体や人材の育成に必要な支援措置を充実・強化すること。

（提出先）衆・参両議院議長、内閣総理大臣、財務大臣ほか

人材の育成も急がれる

高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書

（提出者等　阿部議員ほか4人）

近年、交通事故の発生件数は減少傾向にあるが、75歳以上の高齢運転者の死亡事故の割合は高まっており、単純ミスによる事故も目立っている。

国は75歳以上の免許保持者は違反時や免許更新時に認知機能検査を受けることを義務付けたが、いまや高齢運転者の安全対策及び安全運転支援の取り組みは待ったなしの課題である。

また、過疎地域を中心に、未だ「生活の足」として車が欠かせない高齢者も多い中、自主的に免許を返納した場合などの地域における移動手段の確保も重要な取り組みである。

1　自動ブレーキ機能など、ドライバーの安全運転を支援する装置を搭載した「安全運転サポート車」や後付けの「ペダル踏み間違い時加速抑制装置」の普及、高齢者を対象とした購入支援策の検討。

2　高齢運転者による交通事故を減らすため、自動ブレーキなどを備えた「安全運転サポート車」に限定した免許の創設、走行場所や時間帯などを制限した条件付き運転免許の導入の検討。

3　免許を自主返納した高齢者のため、コミュニティバスやデマンド型乗合タクシーの導入など「地域公共交通ネットワーク」の充実。地方自治体などが行う、免許の自主返納時における、タクシーや公共交通機関の割引制度などを支援。

（提出先）、内閣総理大臣、国土交通大臣ほか

痛ましい事故をへらすために

看護師・介護従事者に最低賃金の設定を

―請願書2件を委員会付託―

【付託とは】
本会議に上程した案件について、詳しく検討を加えるため委員会等に審査を託すことです。

令和元年 第5回臨時会

令和元年第5回遠軽町議会（臨時会）が8月7日に開かれました。

審議案件は、令和元年度遠軽町一般会計補正予算（第3号）が提案され、歳入歳出予算の総額に、それぞれ704万円を追加し、総額を170億9193万円としたほか、工事請負契約の締結1件、財産の取得1件が提案され審議の結果、すべてを原案のとおり可決しました。

また、2本の請願書が提出され、いずれも民生常任委員会に付託し閉会中に審査することにしました。

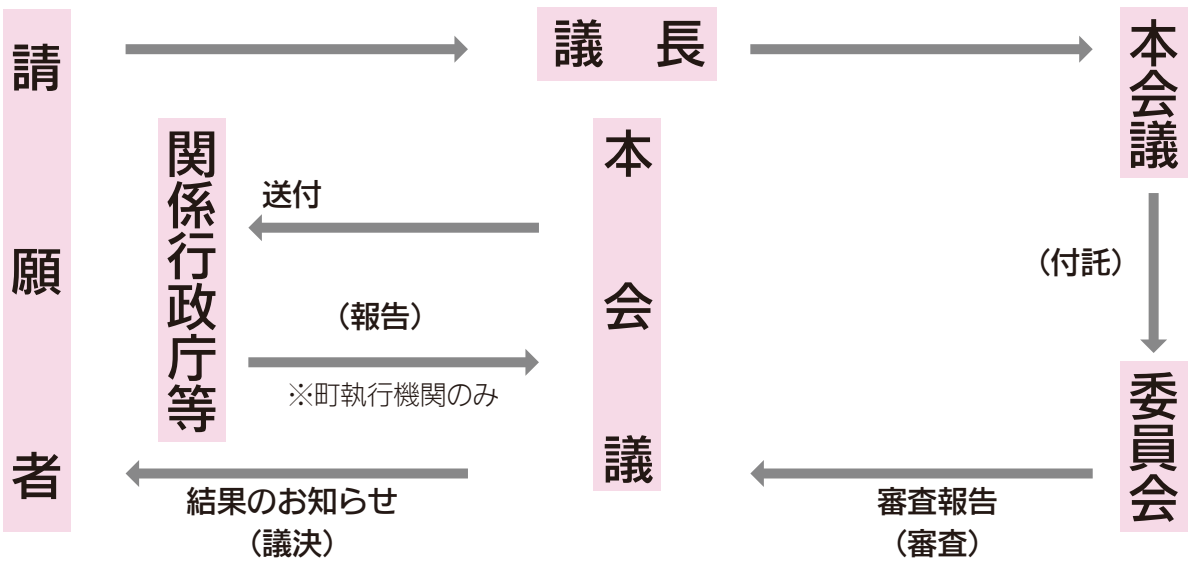
請願

請願第1号
看護師の全国を適用地域とした最低賃金の新設を求める請願
請願者
オホーツク勤労者医療協会医療労働組合
執行委員長　古川　太一
要旨
看護師の賃金の底上げをはかり、安全・安心の医療・看護体制を確保するために、全国を適用対象とした看護師の最低賃金を新設することを国に求めるもの。

請願第2号
介護従事者の全国を適用地域とした最低賃金の新設を求める請願
請願者
オホーツク勤労者医療協会医療労働組合
執行委員長　古川　太一
要旨
介護従事者の賃金の底上げをはかり、安全・安心の介護体制を確保するために、全国を適用対象とした介護従事者の最低賃金を新設することを国に求めるもの

（関連記事P16）

◇ 請願審査の流れ ◇



町政を質(ただ)す!!

一般質問

ここが聞きたい！

令和元年第６回町議会(定例会)　一般質問には、１人の議員が登壇し、多岐に渡り白熱した議論が展開されました
※一部要約して記載しております。

阿部　君枝　議員

投票しやすい環境づくりと優しい配慮を 15

一般質問とは？

一般質問は、町の行政全般（一般事務）に関し、執行者所見や疑義について質問できるものです。

質問する議員も、受ける執行機関も十分な時間が必要なことから通告制とし、事前に質問内容を通告することとしています。

本町議会では質問と答弁がかみ合うように、全文通告制がとられています。

再質問からは、一問一答方式が採用されており、回数に制限なく質問時間を一議員 30 分以内としています。

町政を質す!!

一般質問

阿部　君枝 議員

問 投票しやすい環境づくりと優しい配慮を

答 今後、調査・研究をしてまいりたい

問 遠軽町は65歳以上の高齢者人口が約37％を占め、少子高齢化社会の進展に伴い今後はさらに高齢者のための投票しやすい環境づくりと優しい配慮が必要になります。

高齢者には視力の弱まっている方や、投票所が普段行き慣れない雰囲気の場所で、緊張し誰に投票しようとしていたか忘れてしまうこともあると伺いました。

そこで次の点について伺います。

①期日前投票は、現在4か所で行われているが期間中の何日か、買い物の際の商業施設で投票を可能にできないか？

②あらかじめ投票しようと決めた候補者名を記載したメモや、法定ビラを見ながら投票することについて町の対応は？

③若い有権者にいかに政治や選挙に関心を持ってもらい、選挙に参加してもらうか大きな課題だが、町の取り組みは？

④有権者が投票したことを示す「投票済み証明書」の配付が平成29年の衆議院選挙では全国半数以上の966の自治体で行われている。18歳以上に有権者年齢が引き下げられ、選挙の関心を高めるため初投票の記念にと作成されているが、同様の取り組みを考えてはどうか？

選管委員長

①ネットワークの構築や投票所スペースの安定的な確保、投票の秘密を守るためのスペースの確保や投票箱・投票用紙の保管場所の確保といった課題や、多額の費用増額などが挙げられ、現在のところ設置の考えはありません。

②メモとしての常識を超える大きな紙に書いたものやメモと称したものを持って選挙運動のようなことをしない限り、自分の備忘録用のメモや選挙公報・法定ビラを持ち込むことは、公職選挙法では特段の規制はありません。

③若年層への啓発活動は、成人式に新成人向けのリーフレットを配布し投票参加の呼びかけなどを行っています。また、小中高等学校の児童生徒へ選挙啓発ポスターの作品を毎年募集し、将来を担う子供たちに主権者としての自覚を促しています。

今後も若者をはじめ有権者の選挙への関心を高め、投票率向上に努めていきます。

④個人の投票の自由にも配慮し、現在のところ投票済み証明書を発行する考えはありませんが、今後、近隣自治体などの取り組み状況等を把握し、調査・研究に努めていきます。

再問 高齢者が投票しやすい環境を整えるため、ワゴン車に投票箱を載せ集落に出向く、期日前投票移動車を町も実施してはどうか。

選管事務局長

今後、調査・研究していきます。

表決の結果「不採択」

令和元年第5回臨時会で、民生常任委員会に付託された請願2件の閉会中に審査した結果報告が、佐藤昇委員長からありました。（関連記事P13）

○請願名
請願1号　看護師の全国を適用地域とした最低賃金の新設を求める請願
○請願者
オホーツク勤労者医療協会医療労働組合
執行委員長　古川　太一
○委員会の審議結果
不採択とすべきものに決定
○請願名
請願2号　介護従事者の全国を適用地域とした最低賃金の新設を求める請願
○請願者
オホーツク勤労者医療協会医療労働組合
執行委員長　古川　太一
○委員会の審議結果
不採択とすべきものに決定

令和元年
第6回定例会
9月24日～30日

請願審査報告

討論

賛成

【請願に賛成】岩澤　武征

看護師の賃金・労働条件の改善があってこそ、国民の願いにこたえる安全・安心の医療の実現につながります。

しかし現状は、同一資格のもとで、地域間、施設間、正規職員・パート等による雇用形態による大きな賃金格差があります。

日本医労連の調査によれば、看護師初任給で最高と最低の差は約9万円にも及び、健康への不安を訴えている看護職員は7割、うち慢性疲労も7割に達しています。

人手不足による忙しさで辞めたいと思いながら働いている看護職員が7割もいます。

皆さんのご賛同をお願いいたします。

【請願に賛成】岩澤　武征

介護分野の人手不足は、年々深刻さを増しており、その原因は、過酷な労働条件と労働に見合わない低賃金であることに疑いはありません。

日本医労連の調査では、介護福祉士の初任給で6万8200円の差があるなど、地域間格差があることが明らかになっています。

この格差を、全国一律の最低賃金によって是正を図る必要があります。

介護職の志望者減少、人手不足、労働環境悪化の負のスパイラルを改善するために、職員体制の充実による労働環境の改善と処遇改善策による賃金改善を両面で進めなければなりません。

皆さんのご賛同をお願いいたします。

反対

【請願に反対】渡部　正騎

前提として看護師の処遇が改善されることについては反対ではありません。

ただ、全国一律の最低賃金を設定することが適切かという議論が常に存在しておりました。

地域別の最低賃金の決定には、生計費が大きく関わっており、本請願の趣旨である、全国一律の最低賃金とするには、今後起こりうる課題を整理すべきと考えます。

また、賃金の改善のみで地域医療の格差の問題が解決されるとは言えないと考えており、制度を含めた全体的な見直しを進めるべきと考えます。

よって、本請願に対して反対とさせていただきます。

【請願に反対】黒坂　貴行

請願は介護従事者の賃金の底上げを図ることで、労働状況が改善され、人手不足の解消にも寄与するとしております。

しかし、介護報酬では人件費の差を勘案して、地域間の介護保険費の配分方法を調整する地域加算があり、これらとの兼ね合いも考慮に入れる必要があり、さらに介護従事者に対する「介護職員等特定処遇改善加算」などにより、労働条件を改善し、人手不足の解消のための取り組みを政府は進めています。

また、介護保険料の増額や利用者負担の割合増加も考えられることから、制度設計と賃金の問題はセットで取り組むべき問題であり、いずれかのみの議論や主張のみを反映させるのは非常に難しい問題であると考えます。

常任委員会 施設調査レポート

総務・文教

各地域の公共施設のあり方を考える！

総務・文教常任委員会
所管施設調査実施
7月25日、26日

総務・文教常任委員会は、次の各地域の施設を調査した。

【主な視察のポイント】
①各地域河川敷地パークゴルフ場の現状
②各スポーツ施設の現状
③各総合支所の現状

○白滝地域
・白滝総合支所
○丸瀬布地域
・マウレミュージアム
・マウレ山荘日帰り温泉施設工事現場
・丸瀬布総合スポーツ公園
・道の駅まるせっぷ内トイレ333
・丸瀬布総合支所
○生田原地域
・生田原河畔公園パークゴルフ場
・生田原オホーツク文学館
・生田原総合支所
○遠軽地域
・瀬戸瀬温泉
・瀬戸瀬パークゴルフ場
・旧遠軽小学校
・総合体育館
・都市再生整備計画事業現場
・えんがるパークゴルフ場
・ソフトボール球場
・高齢者スポーツセンター
・武道館

各地域スポーツ施設の現状と課題を再確認

（総括より抜粋）
既にオープンしているはずの（瀬戸瀬パークゴルフ場）新コースについて、遅延の原因究明及び来春オープンに向け対策を講ずるべき。

この案件を含めて委員会を5回開催、案件34件について審議しました。

常任委員会 施設調査レポート

民　生

町民が利用しやすい施設のあり方を！

民生常任委員会
所管施設調査実施
8月6日

民生常任委員会は、次の各地域の施設を調査した。

【主な視察のポイント】
①最終処分場の現状
②合葬墓建立予定墓地の状況
③民間障がい者・児童福祉事業所の活動状況

合葬墓建立予定墓地の環境整備も課題

新しい施設を考えていく一方で現施設の維持も課題

新たな最終処分場の建設まで、現最終処分場の延命化を！

○生田原地域
・生田原テレビ中継局
・旭野最終処分場
・北光福祉会グループホーム

○遠軽地域
・幼保連携型認定こども園「こころ」
・保健福祉総合センター「げんき21」
・デイサービスセンターひまわり（ひなた）
・さわやか共同作業所
・かたつむりの会サロン会場
・野上・水穂墓地
・みなみ児童館

（総括より抜粋）
新たな最終処分場が完成するまでの間、「えんがるクリーンセンター」を多いに活用するなど、現最終処分場の残余容量に注視し、延命化に努めるべき。

この案件を含めて委員会を7回開催、案件38件について審議しました。

常任委員会 施設調査レポート　経済

生活も観光も、安全安心なまちづくりのために！

経済常任委員会
所管施設調査実施
7月3日、4日

経済常任委員会は、次の各地域の施設を調査した。

【主な視察のポイント】
①完成施設の状況
②工事中箇所の状況

○白滝地域
・白滝浄水場建設工事
・道道白滝原野（停）線水道管布設工事

○丸瀬布地域
・上武利地区給水施設配水池等増設工事

安心できるライフラインの整備も急がれる

多くの大規模工事 安全管理の徹底も

町営住宅長寿命化計画に基づいて山の手団地を改修中！

・マウレ山荘日帰り入浴棟
・マウレメモリアルミュージアム
・丸瀬布第2号源泉施設増設工事

○生田原地域
・安国予備水源開発事業
・安国地区道営土地改良事業
・日進団地公営住宅建設工事

○遠軽地域
・道の駅建設工事ほか
・旧遠軽町清掃センター解体工事
・東2線道路防雪工事
・山の手団地公営住宅長寿命化改修工事
・（仮称）えんがる町民センターほか
・駅前広場

（総括より抜粋）
今後予定している大規模工事もあることから、より一層の安全管理に取り組むべきである。

この案件を含めて委員会を4回開催、案件23件について審議しました。

これまで活動した1年間を総括！
所管事務調査報告

平成30年第5回遠軽町議会（定例会）で承認を得た所管事務調査について、総務・文教、民生、経済の各常任委員会から報告がありました。内容の一部を要約してお知らせします。

（議会ホームページに全文掲載しております。http//engaru.jp/gikai/）

総務・文教

1条例に関する事項

(1)条例・規則の見直し
自治立法の具現化を目指し、法務の充実・強化。

(2)分権条例の広報公聴
町民と協働してまちづくりを進めるための広報広聴を。

(3)子どもの権利条例
子どもの権利を守るため、制定に向けてより積極的な取り組みを。

2財産管理に関する事項

(1)公共施設の適正管理
公共施設等総合管理計画に基づき検討を。

(2)未利用財産等の管理
景観保全、環境美化のため、さらなる管理を。

(3)未処理用地
所有権移転等を整理し、引き続き財産台帳に登載を。

3行財政に関する事項

(1)財政健全化
持続可能な自治体運営の確立を目指す財政運営を。

地域に応じた組織機構の検討が必要

4事務執行に関する事項

(1)組織機構の改革
地域の実情も踏まえた効率的な組織機構と職員配置を。

(2)人材の育成
法制執務を研修に取り入れ、人材育成を。

(3)空家等対策の推進に関する特別措置法の施行に伴い計画の策定等事業の推進を

5学校教育に関する事項

(1)教育施設の整備・充実
将来を見据えた学校施設の整備・充実、学校統廃合の検討を。

(2)給食食材の調達
地産地消の推進に努め、食育の推進を。

6社会教育及び文化に関する事項

(1)生涯学習
拠点となる施設の整備と社会教育事業の充実を。

(2)図書館事業
利用者ニーズに配慮し、開閉館の見直しを。

7社会体育及び健康づくりに関する事項

体育施設の整備
大会・合宿誘致のために施設の整備・充実を。

8その他に関する事項

(1)総合計画の推進

(2)陸上自衛隊遠軽駐屯地等の増強・存続

(3)交通弱者のために、公共交通体系の早期総合的検討を

(4)石北線の存続について

(5)白滝ジオパークの広域的推進について

民生

1社会福祉に関する事項

(1)高齢者世帯等の支援
遠軽町高齢者保健福祉計画及び第7期介護保険事業計画に基づき各事業の充実を。

(2)高齢者の見守り体制の充実
自治会など地域住民による見守りなどの活動の支援を。

(3)障がい者が安心して生活できる地域社会
第5期遠軽町障害者計画及び障害福祉計画に基づき、障がい者個々に応じた支援の充実を。

(4)社会福祉事業者との連携
喫緊の課題である介護の担い手不足について取り組みの強化を。

(5)子ども・子育て支援
子育て世代包括支援センターの設置と年間を通した遊び場の具体的推進。

2保健衛生に関する事項

(1)介護保険制度
遠軽町高齢者保健福祉計画及び第7期介護保険事業計画に基づき事業を推進、地域の多様な資源を活用し、地域の助け合いなどの生活支援体制整備の推進を。

子どもたちが年間を通して遊べる環境を

(2)地域医療体制
　医療の充実、医師確保に継続した努力を。

3 環境衛生に関する事項

生活排水対策
　生活排水処理基本計画の住民周知に努め、効果的な生活排水処理対策を。

4 住民生活に関する事項

(1)交通安全対策の推進
(2)安全・安心のまちづくり
　防犯、青少年等の健全育成に向け施策の展開を。

5 町税等に関する事項

町税等の収入未済額
　徴収対策を講じ、さらなる収納率向上を。

地域包括ケアシステムをどうしていくのか

経済

1 農業及び林業に関する事項

(1)農畜産業の振興
　新規就農者、担い手の育成確保等に取り組み、農業振興策の推進を。
(2)農畜産物の振興
　6次産業化に向けた支援、制度周知の充実を。
(3)林業・林産業
　地域材利用推進方針に沿い森林整備を強化し、林業生産の振興を。
(4)間伐材の有効利用
(5)民有林の整備

2 商工業及び観光産業に関する事項

(1)商工業の振興
　起業推進対策等を検討し、特産品の開発促進や販売を。
(2)商店街の活性化
(3)観光産業の振興
　遠軽IC道の駅周辺施設整備と連携し、新たな観光客誘致を。

3 消費及び労政に関する事項

(1)消費対策
　地場産品のPR並びに消費拡大及び地販地消を。
(2)消費者被害防止対策

4 道路及び河川に関する事項

(1)町道
　計画的な道路整備を。
(2)除排雪
(3)河川

5 公営住宅及び建築に関する事項

(1)住宅建設
　遠軽町町営住宅長寿命化計画に基づき速やかな推進を。
(2)公共施設の修繕

6 車両管理に関する事項

(1)車両の管理
(2)町営バス事業
　利便性を考慮した運行体制の整備を。

新たな観光資源として

7 都市計画に関する事項

　都市計画マスタープランを推進し、総合的・計画的なまちづくりを。

8 公共下水道事業に関する事項

(1)公共下水道の経営
(2)下水道処理区域
　下水事業の普及を促進し、未整備地区は計画的な整備を。

9 水道事業に関する事項

(1)施設管理
　施設整備と水源周辺の保全及び安定した水量と水質管理を。
(2)水道管の更新
　水道ビジョンに基づき計画的な更新を。

計画的な建設を

委員会開催状況

■議会運営委員会
3回開催

○主な審議項目
・令和元年第5回議会臨時会
・請願について
・決算審査について
・令和元年第6回議会定例会
・陳情等の取扱い結果
・令和元年第6回議会定例会　追加議案

■会派代表者会議
2回開催
・第6回議会定例会人事案件
・委員会等の構成について

■広報特別委員会
3回開催
・議会だよりの編集

冬でも昆虫たちに会える施設の可能性をもっと知ってほしい！！

えんがある話（まちの声）

○丸瀬布在住
丸瀬布昆虫生態館（㈲アメニティ・トラスト）
○浅窪　さおりさん

生まれも育ちも遠軽町、生粋の遠軽っ子の浅窪さん、短大時代に保育士と幼稚園教諭免許を取得して、平成11年より現職場の昆虫生態館で働いています。

町民に是非知ってほしい事は

夏季だけでなく、一年中オープンしているので、冬の昆虫生態も知っていただきたいです。

真冬に、夏のチョウが飛んでいるのは、ここだけの限定です。また、昆虫の飼育、生態展示含め、この形態は日本中を比較してもトップクラスです。見に来る価値はあると自負しています。

この職場に入る動機と入って良かったことは

以前の昆虫の家がリニューアルして現在の昆虫生態館になった時、委託管理先職員の募集があり、採用されたのがこの職場に入るきっかけでした。

昆虫を含め生き物が好きな私は、生き物の生態を毎日見られるのがとても楽しいので、この職場に入って良かったと思っています。

町民にお願いしたいことは

町には、町民が集う施設が数多くあるので、皆さんにたくさん利用していただきたいのですが、昆虫生態館は、特にご家族連れで来てほしいと思います。子供の喜ぶ顔や感動を親も一緒に味わってほしいです。

町や議会に対しての希望は

各施設の連携をお願いしたいです。例えば、いこいの森には、温泉、機関車、昆虫生態館がありますが、これらを連携して、すべて利用したら割引になるなど、来場されたお客様にお得感を味わってもらえるのではないかと思います。

また、ちゃちゃワールドやジオパークとの連携も良いのではないでしょうか。

昆虫生態館から皆さんにお願いしたいことは

昆虫生態館の昆虫は、自然の環境で生きています。虫よけの薬に耐えられませんので、死んでしまいます。昆虫生態館に入場するときは、虫よけスプレーは絶対使わないようご協力をお願いします。

館の昆虫は、人に危害を加えることは、ありませんので安心して入館し見学してください。

皆さんに覚えて欲しい昆虫は

1頭目は、「オオイチモンジ」です。貴重なチョウです。町のチョウに指定されており、昆虫館のモニュメントにもなっています。

2頭目は、「オオゴマダラ」で、沖縄地方に住み日本一大きく、さなぎは光り輝く黄金色で美しいチョウです。是非、見て覚えてください。

俳優の哀川　翔さんとの繋がりは

映画のロケ中に紹介され来館したのが最初です。「山の中の昆虫館と、期待せずに来て見てビックリ。昆虫の飼育、発育、展示、本格的な活動に感動した。」とのことでした。

それ以降は、時々お遊びで来館されます。今では「哀川さんのカブト虫」も展示しています。

いろんな方たちとの出会いを
楽しんでいます！！

今月の表紙

今月の表紙は、養護老人ホーム緑の園と特別養護老人ホームグリーンプラザの入所者合同敬老会の様子です。

この日は、余興として両施設職員によるカラオケのパフォーマンスなどがあり、仮装してユーモラスに歌う姿に、会場は入所者の皆さんの拍手や笑い声で包まれていました。

高齢者の皆さん、いつまでも笑顔で元気な姿を見せてくださいね。

えんがる議会だより　第56号
令和元年 11 月 1 日発行
発行／遠軽町議会
〒099-0492　遠軽町一条通北３丁目
編集／遠軽町議会広報特別委員会
印刷／㈱遠軽新聞社